



## ガムは何からどうやって作るの

### チクルに味やかおりをつけて作る

ガムは、好きですか。いろいろな味つけをした、さまざまなガムがありますね。ガムは、ほんとうはチューインガムといいます。

ガムは、アメリカに、大昔から住んでいた人たちが考えた食べ物です。この人たちは、もともと、サポディラという木の樹脂をかむ習慣があったのですが、これをヨーロッパからやってきた人たちがまねして広がったのが、ガムの始まりです。

ガムの原料は、サポディラの木からとった、チクルというものです。このチクルに、あまい味や、いいかおりのもとを入れて作ったものがガムなのです。

### 今では、プラスチックのなかまに味をつけて作る

最近、天然のチクルのかわりに、別のものを使っています。たとえば、プラスチックのなかまの、さく酸ビニール樹脂というものをもとにして、色をつけたり、味をつけたり、においをつけたりしています。

今、わたしたちがかんでいるガムは、ほとんどがプラスチックのなかまに味をつけたものなのです。（監修・青木 国夫）



樹皮に傷をつけて、樹液を集め、これをにつめて、天然チクルを作り、ガムの原料にする。



サポディラの木

